

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

個別法による原価法（時価の下落に伴う帳簿切下げの方法）によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法

固定資産の減価償却は、次の方式を採用している。

有形固定資産（リース資産を除く）…定額法

リース資産…リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法

無形固定資産…定額法

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式により行っている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
大会開催準備資金	0	148,430,682	-	148,430,682
合 計	0	148,430,682	-	148,430,682

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に対 応する額)
特定資産				
大会開催準備資金	148,430,682	-	(148,430,682)	-
合 計	148,430,682	-	(148,430,682)	-

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	1,265,732	934,879	330,853
什器備品	2,326,325	1,062,350	1,263,975
リース資産	540,000	311,292	228,708
ソフトウェア	734,832	356,403	378,429
合 計	4,866,889	2,664,924	2,201,965

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
助成金						
スポーツ振興	独立行政法人	-	89,825,000	89,825,000	-	-
くじ助成金	日本スポーツ振興センター					
合 計		-	89,825,000	89,825,000	-	-